

地域教育文化研究科の教育目標及び3つのポリシーについて

【教育目標】

山形大学大学院の教育目標を踏まえ、地域教育文化研究科では、臨床心理学や造形芸術、音楽芸術及びスポーツ科学の各分野において、個々のスキルアップのみならず、実践的な問題解決能力を涵養し、文化的・精神的に豊かな地域社会の構築並びに社会全体の健全な発展向上に資する人材を育てることを目標としています。

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、地域教育文化研究科では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1 高度な専門職従事者としての知識と技能

- (1) 臨床心理学や造形芸術、音楽芸術及びスポーツ科学の各分野における学術上の高度な概念や原理を体系的に理解している。
- (2) 臨床心理学や造形芸術、音楽芸術及びスポーツ科学の各分野における専門職従事者としての倫理観と責任感を持ち、コンプライアンス遵守の精神を得ている。
- (3) 臨床心理学や造形芸術、音楽芸術及びスポーツ科学の各分野において自身の持つ知識・技能を多角的に捉え、諸課題に対応することができる。

2 課題解決能力・新領域の開拓能力

- (1) 現在の社会状況を理解し、臨床心理学や造形芸術、音楽芸術及びスポーツ科学の各分野において取り組むべき課題等の判断及び行動ができる。
- (2) 地域課題の解決や地域貢献のために、臨床心理学や造形芸術、音楽芸術及びスポーツ科学の各分野における専門知識や技術を総合的に駆使することができる。
- (3) 大学院で修得した専門知識や技能を、高度な専門職従事者としてそれぞれの領域において実践的に活かすことができる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

大学院の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、地域教育文化研究科では、学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1 教育課程の編成・実施等

- (1) 高度な専門職従事者としての知識と技能を体得するために、各専攻の諸分野について高度な専門知識を修得するための講義・演習科目を置くとともに、総合的・実践的な研究方法を学ぶために、実習やフィールドワークを行う科目を置くなど体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
- (2) 論文審査については、専門的かつ多面的な考察をするために、適切な助言・指導を行う。

2 教育方法

- (1) 生涯を通じて主体的に学び続ける動機づけとなるような、多様で学際的な知識と技能が身につく教育を展開する。
- (2) 自ら課題を発見して、解決に向けて探求し、成果を表現する能力を培うため、協働による参加型、対話型の学生主体の授業を拡充する。

3 教育評価

- (1) 学習成果の評価においては、不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定する。
- (2) 良識ある市民に求められる知識と技能、さらには主体的・自律的に学習に取り組む姿勢を評価する。

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

地域教育文化研究科は、臨床心理学専攻と文化創造専攻の2専攻から構成され、専門知識や技術・技能を育成するため、実習・演習を重視した教育方法を採用しています。専攻や分野を連携する授業を開設し、また山形県内の心理臨床関連施設や文化・スポーツ施設等と連携して、学生が事業の企画・運営などの補助業務に参加することを通じて実践的な課題解決能力を養うことができるカリキュラムを編成しています。

地域教育文化研究科は、臨床心理や芸術・スポーツの各分野において、高度な専門的知識や技術・技能を養うとともに、各分野において地域社会の健全な発展向上に寄与することができる専門的職業人や指導的人材を養成します。

また、地域教育文化研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・臨床心理や芸術・スポーツの各分野における高度な専門的知識と技能を身につけ、実践的な能力を高めたいという意欲と能力を持つ人
- ・各分野における高度な専門性を地域貢献に活かしたいという意欲と能力を持つ人